

Daiwabo Holdings Co., Ltd.

第110期 ビジネスレポート
2020年4月1日～2021年3月31日

3154 14548731/411243431

13251 5152454 1321X 1 5 41 11 12310X9

5D1123 5DF3T E R VEG09FTG.1 4Z1

1 ACOCEV HHTY Z121 1454////Z GFG.

LR () ZR12271 1455ER112231



101110111
000101110
101110110

DFG2ER 121CV5063* 10VW 1213
DVB-ERG TL...L...LZLO VLLL
BRTVN34 58 226F 235 80
35 325CVERY2 355 68
CCNRFT 2334 13532 6551565
1245 345YXOVNMM 1345 RERY
124CSVBTHMY YYY YR6JJ.10



売上高は4期連続、
営業利益は5期連続で
過去最高を更新しました。

ダイワボウホールディングス株式会社
代表取締役社長

西村 幸浩



株主様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第110期の事業のご報告に先立ち、昨年9月に発表しました連結子会社の不適切な取引につきまして、株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様にご迷惑とご心配をおかけしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

当社グループとしましては、この事態を深く受け止め、現在、再発防止策の取り組みを進めております。株主様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様からの信頼を、早期に回復できますよう努めてまいります。

第110期(2021年3月期)におけるわが国の経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、個人消費や設備投資の落ち込み等、厳しい状況でした。そのようななか、当社グループは、中期経営計画「イノベーション21」第三次計画の最終年度として、当期の事業方針である「リーディングカンパニーとして更なる高みへの挑戦」「持続的発展に向けた成長ドライバーの創出」「たゆまぬ変革による高効率経営の追求」のもと、社会構造の変化へ果敢に挑戦し、グループの成長戦略を推進するなど、更なる連結企業価値の向上に努めました。

事業の概況につきましては、ITインフラ流通事業からご報告させていただきます。同事業の法人向け市場は、昨年1月のWindows7サポート終了に伴う更新需要の反動やコロナ禍による企業のIT関連支出の減少などが懸念される状況でした。このような厳しい環境下において、全国拠点による対面とオンラインを組み合わせた地域密着型の営業を推し進めた結

果、ニューノーマルな働き方に伴うITニーズを着実に捉え、サブスクリプション(継続課金)型クラウドサービスや、ノートPC・液晶モニタ・ヘッドセット等の受注が増加しました。

加えて、ICT(情報通信技術)環境の整備が進む文教市場では、全国の小中学校において児童生徒1人に1台の端末整備が求められており(GIGAスクール構想)、そのニーズに応えるべく、関連商品の販売をはじめキッキングサービス(機器の事前設定)等の複合提案に注力し、PCやタブレット、ネットワーク機器関連の需要を獲得することができました。

個人向け市場では、テレワーク・オンライン学習関連商品の需要増に向けて、EC(電子商取引)販売向け商材の確保と提案を強化し、PCや液晶モニタなど周辺機器の受注を伸ばしております。

繊維事業は、合繊・レーヨン部門が、除菌関連向けの商品や不織布用レーヨン綿の販売を大幅に伸ばしました。その一方で産業資材部門は、各種イベントの

中止や建築工事の減少でテント・帆布などの重布関連商品が低迷、衣料製品部門も外出自粛や店舗休業によりカジュアル衣料等が苦戦を強いられました。

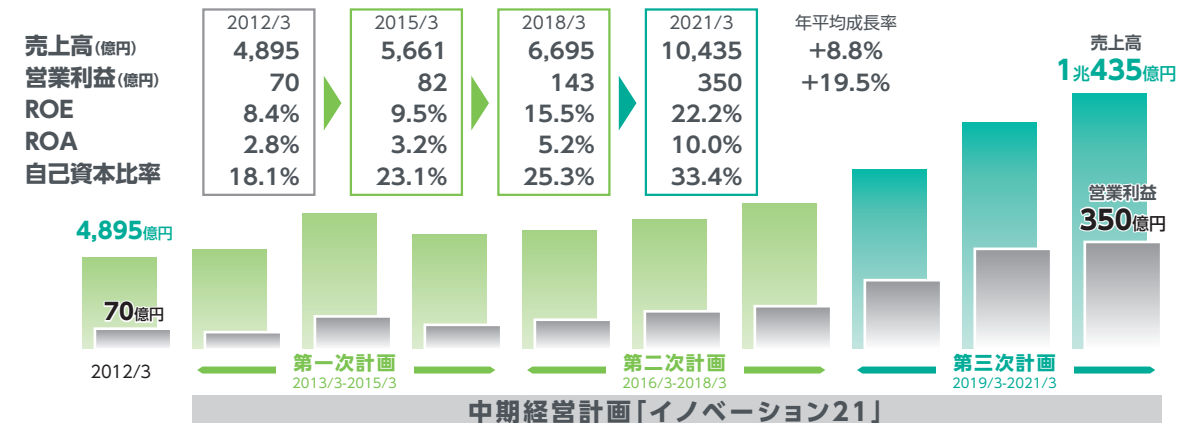
産業機械事業は、工作機械部門・自動機械部門ともに、企業の設備投資の冷え込みに加え、営業活動の制限もあって不振を余儀なくされました。

以上の結果、ITインフラ流通事業が牽引役となり、当期連結業績は、売上高1兆435億3千4百万円(前期比10.5%増)、営業利益350億2千8百万円(前期比6.7%増)、経常利益357億8千1百万円(前期比7.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益257億1千5百万円(21.4%増)となりました。

売上高は初めて1兆円を超え、さらに営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益のいずれもが、過去最高を更新いたしました。

なお株主様への期末配当金は、前期末160円に対し、同水準換算となる株式分割前ベースで1株当たり300円とさせていただきます。

前中期経営計画の振り返り

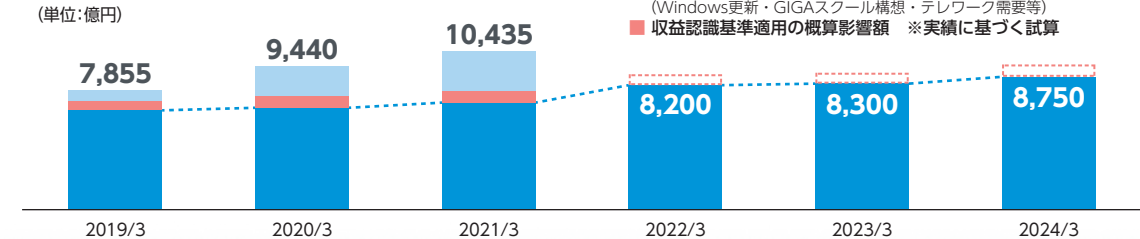


新中期経営計画 収益指標

(億円)	2021/3 (実績)	2022/3 (計画)	2023/3 (計画)	2024/3 (計画)	
売上高	10,435	8,200	8,300	8,750	<small><収益認識に関する会計基準の適用による主な変更点> サービス・ソフトウェア販売等の一部において会計基準上の「代理人取引」に該当するため、売上高の計上方法が総額計上から純額計上に変更されます。</small>
営業利益	350	285	286	314	
営業利益率	3.4%	3.5%	3.5%	3.6%	

→収益認識に関する会計基準を適用*

<売上高推移イメージ>



第111期からスタートした新中期経営計画(2022年3月期~2024年3月期)は、「将来にわたる発展を見据えた転換期」と位置づけております。次なる成長の原動力を生み出す体制の整備を目的として、ビジネスモデル変革への挑戦、ESG(環境・社会・ガバナンス)の視点による事業を通じた社会課題解決への貢献をめざし、加えて、事業を支え未来を創るのも「人」という観点から、人材価値の最大化を図っていく計画です。

これらの目標を実現していくため、グループ基本方針として以下の3点を掲げました。

次世代成長ドライバーの創出

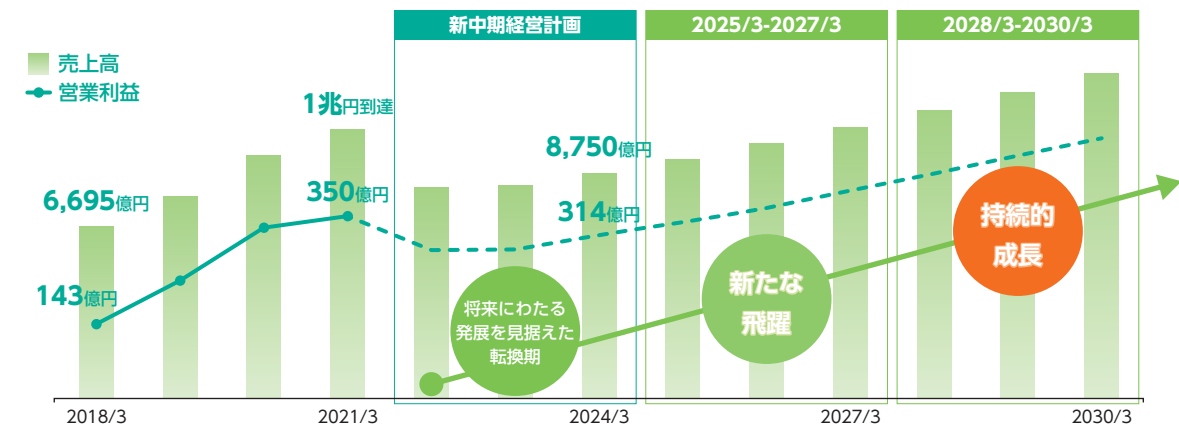
- これからの10年を支える原動力創り
従来型ビジネスからの変革に向けて、事業領域の「選択」と「集中」、未開拓分野の発掘に取り組むとともに、オリジナル商品やサービスの開発促進、

- M&A戦略の検討も開始する。
- デジタルシフト、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進など新たな潮流を捉えたビジネス展開
5G・AI・IoT・オンライン・自動化など、ビジネス展開への取り込みと自社活用を推進する。
- クラウドディストリビューターとしてのプレゼンス確立
中核事業のITインフラ流通事業におけるサブスクリプション事業の更なる拡充と、デジタル庁設置で加速が予想されるクラウドビジネスなど、成長分野を見据えた事業の拡大を図る。

リーディングカンパニーとして
新たな社会作りへの貢献

- パートナーシップを駆使したマーケット創造
B to Bビジネスにおける取引先との更なる関係性強化。特にITインフラ流通事業においては全国の営業拠点網を生かし、都市部とその他の地域な

中長期的な成長イメージ



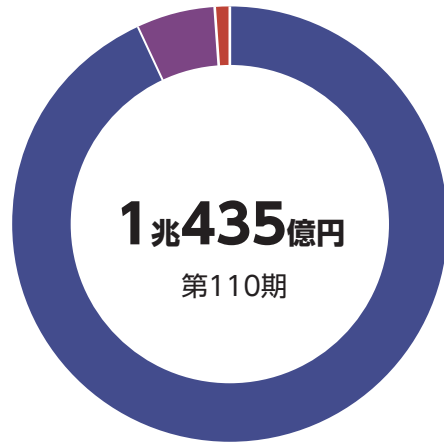
- どニーズが異なるエリア戦略の深耕、PCをはじめとしたカテゴリや業種ごとの用途提案・商材開発による市場拡大を図る。
- サービス&ソリューション強化による顧客エンゲージメント向上
全事業でメニューの充実や販売支援機能の実装に取り組むとともに、顧客接点における最良の顧客体験の提供に努める。
- 社会課題解決を通じた事業の拡大
SDGsの観点から、教育環境のICT化、医療環境の整備、生産性の向上、防災・減災への取り組み、環境に配慮した商材開発などを推進する。

経営基盤変革

- キャッシュ・フローの適正配分による資本効率の向上
事業で生み出された収益は成長投資に活用する

- とともに、安定配当を基本に株主様への還元を充実させる。
- 人材育成と成長を支える組織風土改革
積極的な人材登用や教育・研修への戦略的投資、グループ連携での人材活用、労働環境の整備、デジタルの活用による業務改革を推進する。
- コーポレートガバナンスの実効性強化
引き続きコンプライアンスの徹底と業務プロセスの内部統制強化に努める。

当社グループがめざしているのは、持続的な連結企業価値の向上であり、株主様をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様から長期にわたり信頼していただける企業体です。次なる成長の原動力を生み出す体制を整え、新たな飛躍へとつなげてまいります。株主様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



売上高構成比



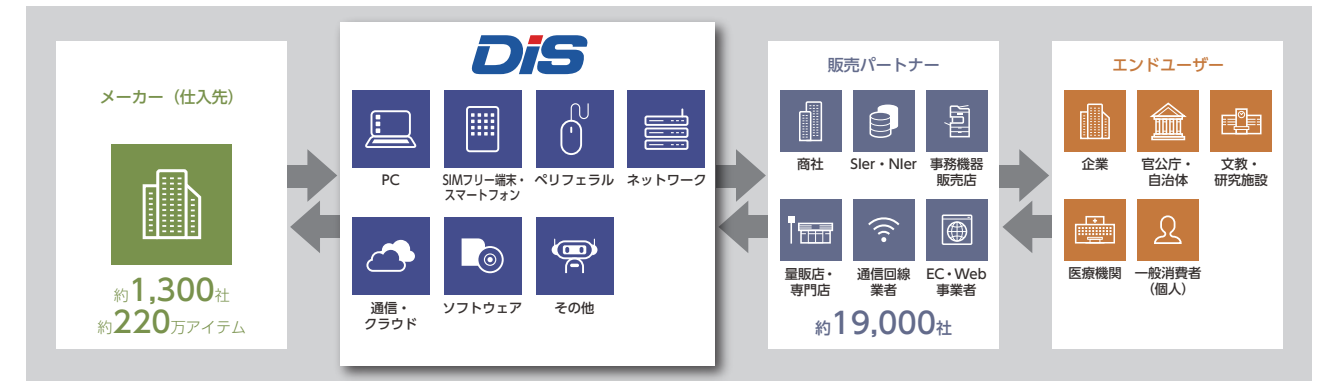
ITインフラ流通事業	ディストリビューション	ダイワボウ情報システム(株)	
	サービス&ソリューション	ディーアイエスサービス&ソリューション(株)	
繊維事業	合織・レーヨン	大和紡績(株)	ダイワボウレーヨン(株)
	産業資材		カンボウプラス(株)
	衣料製品		ダイワボウアドバンス(株)
産業機械事業	工作機械	(株)オーエム製作所	
	自動機械	(株)オーエム機械	
	鋳造・加工・組立	オーエム金属工業(株)	

ITインフラ流通事業

国内最大級のディストリビューターとしてIT環境をトータルにサポート

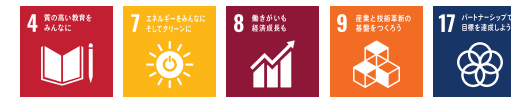
ITインフラ流通事業は、ダイワボウ情報システム(DIS)グループが運営する事業です。DISは独立系マルチベンダーとして、お客様のニーズに合わせて最適なソリューションを提案し、世界中のIT関連商品・サービスをあらゆる組み合わせでご提供しています。どの地域のお客様にもFace to Faceできめ細やかに対応できるよう、日本国内をカバーする営業拠

点と物流拠点を展開。全国の販売パートナーを通じて、民間企業や官公庁・自治体、学校、医療機関、一般消費者など、幅広く利用されるIT関連商品をお届けします。時代の変化に即応しながら、万全のサービス&サポートで、多様化・高度化するニーズに応え続けていきます。



事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 全国の営業拠点網によるIT化推進の取り組み
- 教育の情報化に向けた取り組み
- サブスクリプション管理ポータル「iKAZUCHI (雷)」での新たなビジネス共創の場の提供



「iKAZUCHI (雷)」は、DISが提供するサブスクリプション管理ポータルです。サブスクリプション型(継続課金型)ビジネスは、低コストで最新サービスが利用できるため、幅広い分野で普及・拡大が見込まれています。販売パートナーは「iKAZUCHI (雷)」を利用することで、クラウドサービスを中心としたサブスクリプションビジネスにおける注文工数が削減され、年額・月額・従量制などのさまざまな継続型契約や、ユーザー情報の一元管理が可能になります。

繊維事業



衣料・生活用品から産業資材まで高付加価値を追求する繊維メーカー

素材としての用途の広がりや循環型社会への対応など、多様な可能性を持つ繊維の事業フィールドで、研究開発に力を入れ、サステナビリティに配慮した素材や機能性・独自性のある素材を生かした高付加価値な商品を生み出しています。衣料品のほか、紙おむつの材料といった生活資材から建設現場の防水シートなど産業資材まで取り扱い分野は幅広く、その提供形態も原綿や不織布、最終製品まで多岐にわたります。

事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 生分解性繊維など環境負荷低減に貢献する商品開発
- カセイソーダ不使用の染色加工技術など水使用量の削減、環境負荷低減のプロセス開発



産業機械事業



あらゆる業界の製造機械に変革をもたらす「匠の精鋭技術集団」

航空・宇宙分野をはじめ、あらゆる産業のマザーマシンとして活躍し、長年にわたる技術・技能の伝承により厚い信頼を得ている「立旋盤」や、鉄道の安全と乗り心地を支える「車輪旋盤」などの工作機械と、食品や製薬などの幅広い業界で活躍する自動梱包機を主に製造販売しています。時代を先取りし、独創性を持って、高い技術力が生み出す高精度な機械を提供することで、多様化するユーザーニーズに確実に応えていきます。

事業を通じた社会課題解決への貢献機会

- 航空機エンジンやエネルギー分野向けなどの部品、鉄道車輪メンテナンス用の工作機械を通じてモノづくりの技術と品質を提供



ダイワボウグループのESG

ダイワボウグループは、基本姿勢、存在意義、価値観を表明した「グループ経営理念」、「グループ企業行動憲章」を制定しており、ESGに関する考えもこれらの中にも含まれています。グループとして全てのステークホルダーとともに、【地球環境】との調和を図りながら、豊かなより良い【人間社会】を築くことが私たちの使命です。私たちはグループ経営理念、企業行動

憲章のもと、【お客様第一】を経営の根幹に、環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance) (以下「ESG」といいます。)への配慮が企業価値向上に資するものと考え、ESG活動を「サステナビリティ・アクション」としてグループ全社において持続的な成長を遂げるため取り組んでまいります。

それぞれの事業で培った発想力・技術力・ネットワーク力を 駆使して社会課題解決に幅広く貢献

社会に役立つ

人と人、人と地球、未来へとつなげる

守りのESG

<事業リスクの低減>

- 事業活動におけるCO₂排出量の削減
- 労働安全衛生、働きやすい労働環境醸成
- 人材育成
- 安定調達の確保
- コーポレートガバナンス、リスクマネジメント等

ビジネスに結び付ける

攻めのESG

<事業機会の増大>

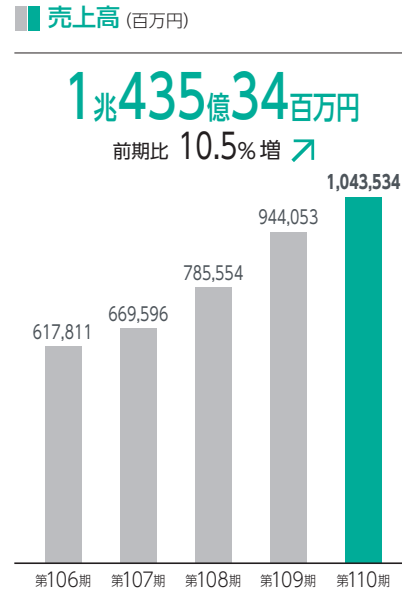
- 社会課題解決型の商品・サービスの提供
- 環境に配慮した商品開発
- 事業を通じた地域社会への貢献等

当社グループにおいて重点テーマとして掲げる社会課題

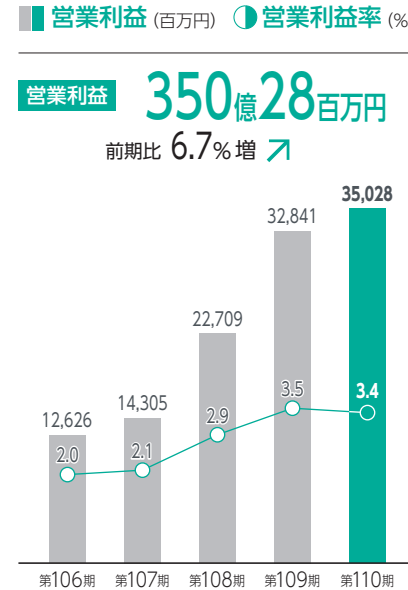
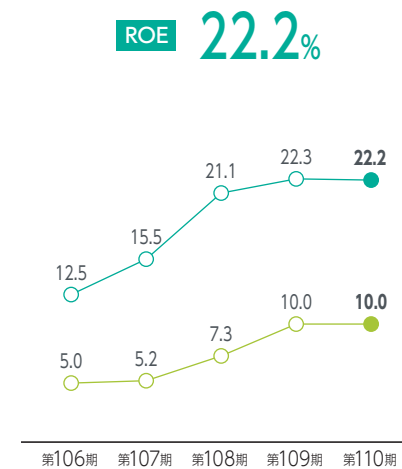
昨今はさまざまな社会課題に対する注目度が高まるなか、当社の事業を取り巻く環境も、より速いスピードで変化しております。当社グループではESGへの取り組みはリスクとして捉えるだけでなく、これをチャンスと捉え、それぞれに重点テーマを設定したうえで、「守り」と「攻め」、両方の観点からビジネスに結び付けることで、社内風土の醸成やコスト対応に取り組み続けてまいります。

当社では2020年からESG推進委員会を設置し、グループ間での連携を取りながら各種取り組みを推進しております。引き続き、グループ横断で活動内容の共有を行い、ESGに対する意識を一丸となって向上させてまいります。

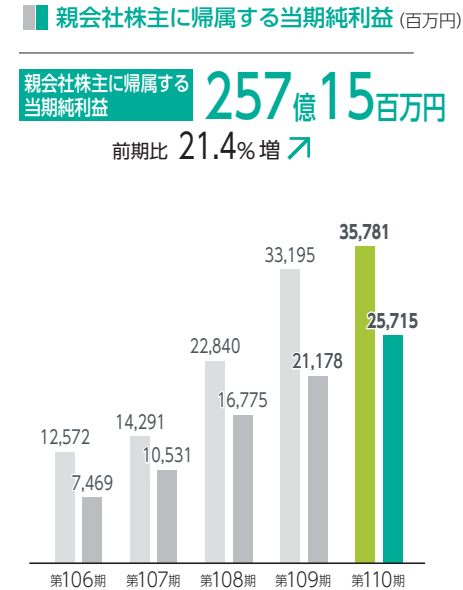
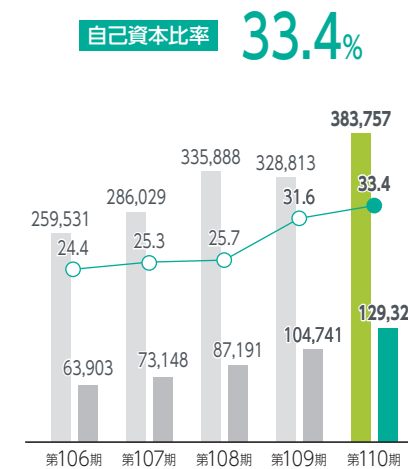
連結業績ハイライト



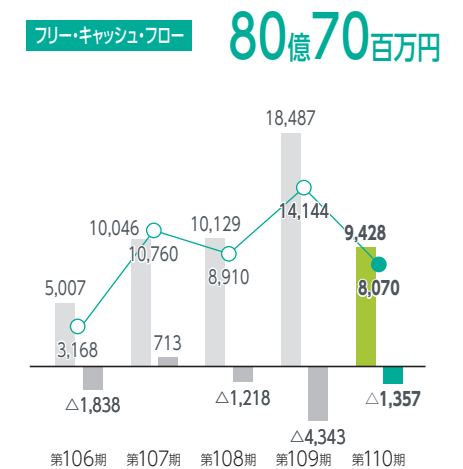
● ROE (自己資本利益率) (%)
● ROA (総資産利益率) (%)



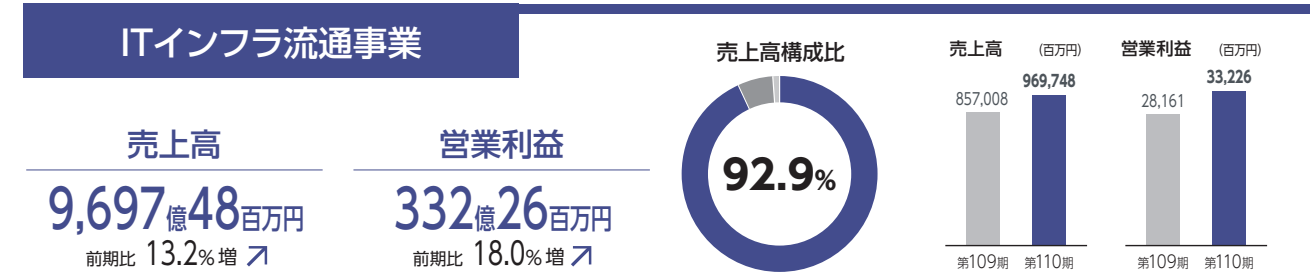
■ 総資産 ■ 純資産 (百万円)
● 自己資本比率 (%)



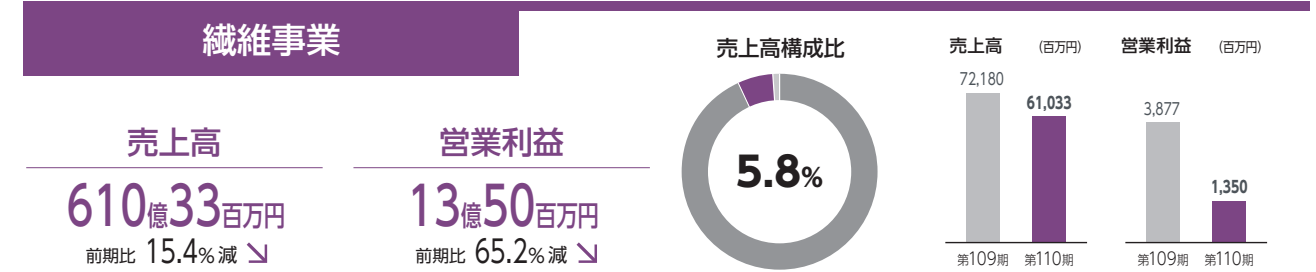
■ 営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)
● フリー・キャッシュ・フロー (百万円)



事業別概況

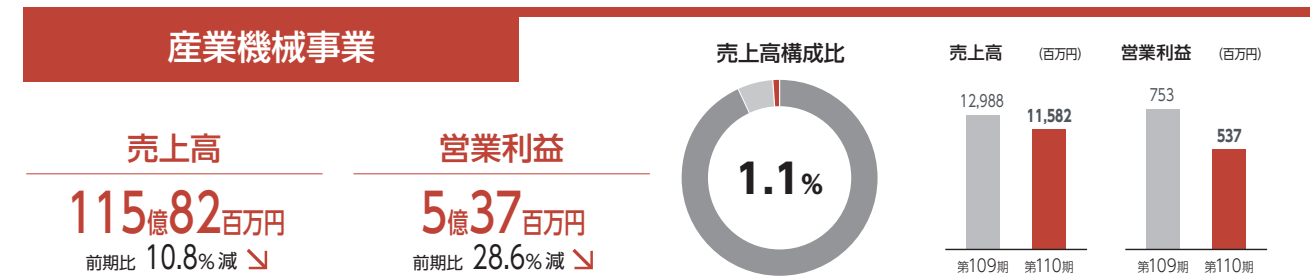


テレワーク等の活用による新たな働き方の提案を推進し、ノートPC・液晶モニタ等の関連商材やクラウドサービスの販売が増加するとともに、下期からはGIGAスクール構想により全国的に文教分野の売上が拡大、個人向け市場はEC販売への注力により好調に推移しました。



除菌関連向けの商品は需要が大幅に増加したものの、コスメ関連や重布製品、衣料品等は厳しい市場環境が継続し販売が低迷しました。

※不適切な取引に関して、当期の繊維事業セグメントの売上高640百万円を取消しており、これに当期の売上原価と過年度の累計損益の影響を折り返すと営業損益は2,100百万円減少しております。
※第110期より繊維事業で吸収合併をしたことによりセグメントの管理区分を一部見直ししており、第109期以降の繊維事業のセグメント情報は変更後の区分方法に基づき作成しております。



顧客における設備投資の停滞・計画延期や移動制限などの影響が長引き、受注および売上が減少しました。

2020年

- 10月**
 - 10.30 当社連結子会社における不適切な取引に関する特別調査委員会による調査期間延長について
- 11月**
 - 11.13 **Pick Up 1** オーエム製作所、「JIMTOF2020」にオンライン出展
 - 11.25 ダイワボウ情報システム、ディストリビューターとしてGoogle Workspaceの取り扱いを開始
 - 12.22 大和紡績出雲工場、島根県より立地計画の認定を受ける
 - 12.24 不適切取引に関する再発防止策等に関するお知らせ
 - 12.28 大和紡績香港有限公司の解散に関するお知らせ
- 12月**
- 1月**
 - 01.13 霧島国際ホテルの営業終了に関するお知らせ
 - 01.21 ダイワボウ情報システムとシスコ、中堅中小企業向けにテレワークパッケージを提供
 - 01.26 ダイワボウ情報システム、子会社間の合併に関するお知らせ
- 2月**
 - 02.03 **Pick Up 2** ダイワボウ情報システム、「DIS WORLD Digital Days 2021」オンライン開催のお知らせ
 - 02.08 **Pick Up 3** 大和紡績、「U.S.コットン・トラスト・プロトコル」に参加
- 3月**
 - 03.30 ダイワボウ情報システム、iKAZUCHI (雷) によるアドビ製品の自動更新ライセンスを提供開始

2021年

Pick Up 1 「JIMTOF2020」にオンライン出展

日本工作機械工業会と東京ビッグサイトが主催する工作機械の大型専門見本市「JIMTOF2020」がオンラインにて開催され、オーエム製作所が出展しました。主力製品である立旋盤のラインナップを幅広く紹介したほか、省人化・無人化に貢献する技術開発に取り組んでいることをアピールしました。

Pick Up 2 「DIS わあるど」が初めてオンラインで開催 デジタルの利点を生かして過去最大規模を達成

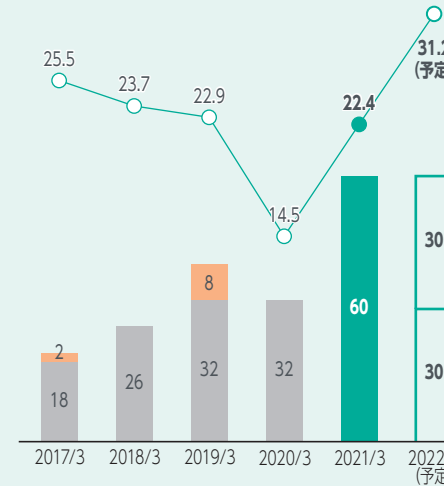
DISは、ICTの総合イベント「DIS WORLD Digital Days 2021」を2021年2月16日から4日間、インターネット上で開催しました。長年にわたり全国各地で開催してきた「DISわあるど」をオンラインで実現する初の試みで、バーチャルな空間を生かした工夫を凝らし、約170社の出展社とともに業界動向、社会情勢にフィットしたITソリューションを紹介しました。来場者は17,967名を数え、過去最大規模の成果を収めることができました。

Pick Up 3 「U.S.コットン・トラスト・プロトコル」に参加

大和紡績は、アメリカ綿花業界が推進する「U.S.コットン・トラスト・プロトコル」に参加しています。アメリカ産のコットン(綿花)は、環境・社会に配慮した生産方法により栽培されるサステナブルな原料です。本プロトコルにより、土地利用効率の向上や水使用率の低減などのデータを検証しながらサステナブルな企業運営に取り組むための情報をお客様に対して提供できるようになりました。今後もアメリカ綿花由来のサプライヤーとして、継続的な環境改善に貢献します。

株主の皆様への利益還元について

■ 年間配当金 (円) ● 配当性向 (%)
■は記念配当



※1株当たり配当金は株式併合(2017年10月1日)・株式分割(2021年4月1日)を過年度に遡及して表示

PER (株価収益率)

6.3倍

PBR (株価純資産倍率)

1.3倍

2021年3月31日終値に基づいて算出

Point 1 増配 継続的かつ安定的な利益還元

2021年3月期1株当たり**300円**(前期比**+140円**)
※株式分割を考慮した場合は1株当たり60円

Point 2 株式分割 投資家層の拡大と株式流動性の向上

投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様にとってより投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大と株式の流動性の向上を図ることを目的に、2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合をもって分割いたしました。



Point 3 中間配当 利益還元機会の充実

2022年3月期より**中間配当**を実施予定(中間**30円**+期末**30円**)

Point 4 自己株式取得 1株当たり株主価値の向上

取得総数 普通株式上限150万株
/ 1.56% 発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合

取得総額 上限**20億**円

取得期間 2021年5月14日~2021年8月31日

会社概要

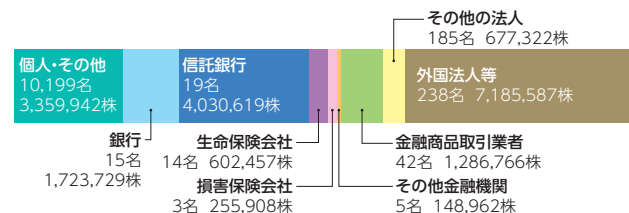
(2021年3月31日現在)

社名 ダイワボウホールディングス株式会社
 資本金 21,696,744,900円
 創立日 1941年4月1日
 事業拠点 本社
 大阪市中央区久太郎町3丁目6番8号
 御堂筋ダイワビル (〒541-0056)
 TEL.06-6281-2325
 連結従業員数 5,683名

株式の状況

(2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 40,000,000株
 発行済株式の総数 19,271,292株
(注) 上記のうち42,931株を自己株式として保有しております。
 株主数 10,720名
 所有者別株式分布 19,271,292株



※当社は、普通株式1株につき5株の割合をもって、2021年4月1日付で株式分割を行いました。これにより、発行可能株式総数は、200,000,000株に、また、発行済株式の総数は、96,356,460株にそれぞれ増加しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 基準日 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
 上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL
<https://www.daiwabo-holdings.com/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。

役員

(2021年6月29日現在)

取締役



代表取締役社長
西村 幸浩



常務取締役
辰巳 敏博



取締役
安田 充成



社外
取締役
土肥 謙一



社外
取締役
中村 一幸



社外
取締役
吉丸 由紀子



社外
取締役
藤木 貴子

監査役



常勤監査役
小野 正也



社外
監査役
藤木 久



社外
監査役
植田 益司

各詳細につきましては、当社ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.daiwabo-holdings.com/>

会社案内ビデオ



グループ広報誌
DAIWABO HOLDINGS
Digest



Corporate
Profile 2020



IR・投資家情報

個人株主・投資家の皆様へ（5分でわかるダイワボウグループ）
中期経営計画／業績・財務
IRライブラリ／株式情報
IRカレンダー／IRニュース
IRポリシー／よくあるご質問
電子公告

ITインフラ流通事業
繊維事業
産業機械事業

事業紹介

サステナビリティ

環境活動
社会活動
コーポレートガバナンス
ISO取得状況



ご挨拶／グループ理念体系
会社概要／役員一覧
沿革／グループ広報誌／会社案内ビデオ

会社情報



UD FONT

ダイワボウホールディングス株式会社